

導入事例 007

富士山 — 2007年 7月～8月 —

wrappon
×
Environment
環境



山のトイレの イメージを覆す。 環境に配慮したトイレ。

低コストでの設置が可能。

年間およそ20万人が訪れる富士山では、ゴミやトイレが問題となる事が多い。特に近年ではトイレ(し尿)による土壌汚染が問題視されている。

ラップポンは、山岳地帯では特に貴重な資源である水をまったく必要とせず、5層構造の特殊な防臭フィルムで排泄物を完全に密封し、燃やしてもダイオキシンなどの有害な物質は発生しない。また、給排水工事や便槽工事などの作業が不要なことから低コストでの設置が可能である。このような理由から、環境省関東地方環境事務所からの要請で2007年7月から約2ヶ月の間、仮設する事が決まった。期間中約3万人の登山客にラップポンを使用していただいた。

様々な分野から需要が高まるラップ式トイレ。

排泄物を自動的にラップする機能を持ち合わせた「ラップポン」は、臭いや処理の手間などの負担を軽減し、ポータブルトイレの“汚い”というイメージを一新した。設置の手軽さに加え、水を全く使わない新しいタイプのトイレとして国内外からの注目を集め、介護・防災・建設・レジャーなど様々な分野からの需要がある。



富士山 7合目にてラップポンの使用の様子

富士山のように年間を通して多くの観光客が訪れる国立公園や山岳地帯ではトイレ設備が未整備な場所が多い。豊かな自然と大切な資源である水を守るために、次世代型トイレ『ラップポン』が導入されている。



富士山 富士吉田口下山道
7合目 4基



富士山 富士宮口
新5合目 1基

導入商品

ラップポン・シェルバ
不特定多数の利用者のためにオカラの凝固剤を自動で投入する機能を搭載した、富士山仕様のラップポン。
(完全オーダーメイド)



トカラ皆既日食公認トイレ 2009.7.22



photo by Martin Junius



ラップポン・トレッカー

今世紀最大の天体ショーがトカラ列島でみられる。住民の生活、島の環境、ツアー客の安全を守るためラップポン・トレッカーが公認トイレとして選ばれました。

ラップポン
セイフティーコール

0120-208-718

<http://www.wrappon.com>

E-mail:kaigo@nihonsafety.com

資料ご希望の方は、フリーダイヤル・メール・ホームページからお気軽にどうぞ

日本セイフティー株式会社 ラップポン事業部 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-11